



成形ひずみを考慮した鋼板の特性評価 — 広幅板材への予ひずみ付与技術 —

プレス成形などのひずみ付与を模擬した薄板の特性を評価できます。

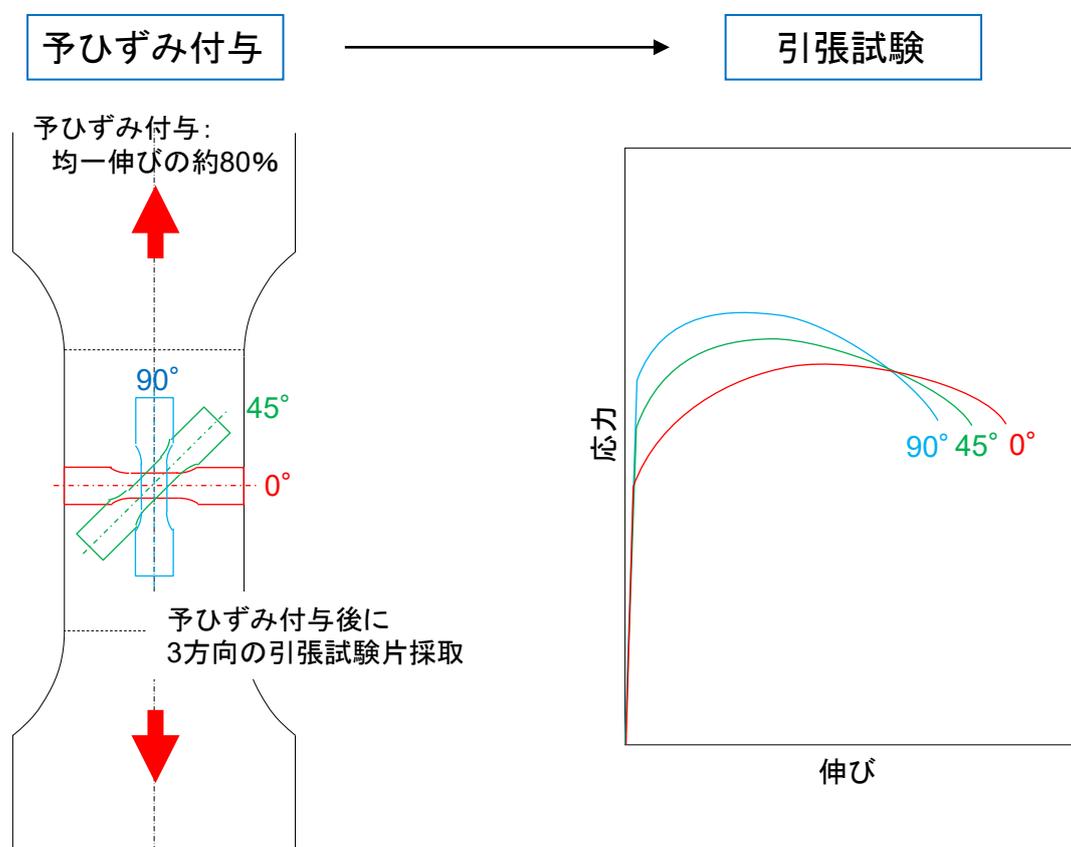
評価技術の特徴

- 広幅の鋼板やアルミニウム合金薄板にひずみを付与し、予ひずみ以外の方向の機械的特性も評価できます。
- 予ひずみ方向に対し、任意の角度で引張試験等の各種評価試験を実施できます。
- 時効指数 (Aging Index) や焼付硬化 (Bake Hardening) 量の評価は、従来、試験方向と同一方向への予ひずみ付与後に評価しておりましたが、本技術により実工程に則した評価が可能です。
- 画像相関法 (Digital Image Correlation) 計測と組み合わせると、試験片全体のひずみ分布も測定できます。

試験仕様

- 最大荷重 : 2000 kN
- 予ひずみ導入部分の形状 幅 : 約200 mm以下 長さ : 約500 mm
材質と厚さによりますので、ご相談ください。溶接線の入った鋼板も試験可能です。
- 対象となる試験片の例
引張試験 遅れ破壊評価試験 エリクセン試験

評価事例 (引張試験)



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2020 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。